

# キャンプ砂防2017参加者募集

## 山の鼓動

を感じる



崩壊地を歩き、植生を知り、川の流を感じ、自然と人々の関わりを実体験することによって、そこに住む人々の生活を知ります。また、災害体験談等を通じて土砂災害の危険性を学びます。

## まちづくり

を考える



地域の方々の講話や観光業体験、地域イベント等に参加し、まちおこしについて考えます

## 土砂災害

にふれる



過去に起こった災害現場視察や砂防工事の実習を行い、日頃机上では学べない現場作業などを学びます。

## モノ

を作る



農業体験や林業体験、機織りや木材加工など、地場産業や地域文化の体験を通じて中山間地域の現状を学びます。



### キャンプ砂防とは

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然条件下にあります。さらに、近年中山間地域では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方、このような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されています。

◆キャンプ砂防運営委員会 / 【事務局】国土交通省砂防部砂防計画課 地震・火山砂防室  
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL 03-5253-8468 (直通) FAX 03-5253-1610

◆キャンプ砂防推進協議会 / 【運営担当】NPO法人砂 土砂災害防止広報センター  
〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲 4-11 TEL 03-5614-1114 (代表) FAX 03-5614-1109

<http://www.sabopc.or.jp/camp-sabo2017/>



### 『キャンプ砂防』参加者の声

地すべりを“抑止・抑制”する取り組みの説明を受け、実際に地下伸縮計や孔内傾斜計など現在活躍するシステムを見学した。砂防以外でも田舎の歴史を知り、地すべり地帯でありながら人々にとっての大切な生活拠点になりうることを学んだ。また、機械やケーブルなど重いものを担いで山を登らなければならない砂防の力仕事の面を知って、「大学で文字を通して学ぶ裏には、このような力仕事が存在しているんだ」という感想を持った。

(広島大学 総合科学部 3年・男性)

一番印象深かったのは、大富町長・土佐町長・北川村長のお話でした。それぞれが自分たちの地域の産業の活性化に取り組み、地域にとって砂防事業がどのような効果をもたらしているかを熱心に語ってくださり、大学院で学んでいることもこのような形で社会に役立てていけるのだと感じました。私はいずれ行政に携わる人間になりたいと思っていますので、今回学んだ経験を忘れず、今後活かしていけたらと考えています。あっという間でしたが、とても濃い研修でした。

(鹿児島大学 農学部 1年・女性)

国土保全是、国・市町村・県・民間企業が互いに連携をとり、進める必要があると感じました。それぞれの役割が異なるため、広い知識を持たねばならないと気づきましたし、またこれまでの学びも実際の現場と結びつけられより深い理解となりました。また、砂防が地形や地質に左右され、地域を守るための事業であると考え、事業を進める上では文化も含め住民の生活は無視できない存在であり、そこに私がこれから砂防学を専攻していく意義もある気がしました。

(宮崎大学 農学部 3年・女性)